

2020年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](非連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社ランドコンピュータ

上場取引所

東

コード番号 3924

URL https://www.rand.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名) 福島 嘉章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

名)取締役経営管理本部長 日 2020年2月13日 (氏名) 奥野 文俊 TEL 03-5232-3046

四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上副	即	営業利	J益	経常和	J益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,321	13.9	391	27.0	406	31.9	270	34.1
2019年3月期第3四半期	5,550	9.9	307	64.5	307	56.0	201	48.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	45.14	
2019年3月期第3四半期	33.66	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期第3四半期	5,038	3,426	68.0	572.38
2019年3月期	5,033	3,261	64.8	544.96

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 3,426百万円 2019年3月期 3,261百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円 銭	円銭	円銭	円銭		
2019年3月期		9.00		11.00	20.00		
2020年3月期		10.00					
2020年3月期(予想)				15.00	25.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想につきましては、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年 3月期の業績予想(2019年 4月 1日~2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	削益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,900	10.5	650	11.1	665	13.5	430	13.6	71.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	5,987,100 株	2019年3月期	5,985,000 株
2020年3月期3Q	213 株	2019年3月期	213 株
2020年3月期3Q	5,986,047 株	2019年3月期3Q	5,984,787 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。

株式会社ランドコンピュータ (3924) 2020年3月期第3四半期決算短信(非連結)

○添付資料の目次

1.	当四	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	3
	(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四当	半期財務諸表及び主な注記	4
	(1)	四半期貸借対照表	4
	(2)	四半期損益計算書	6
		第3四半期累計期間 ·····	6
	(3)	四半期財務諸表に関する注記事項	7
		(継続企業の前提に関する注記)	7
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
		(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、設備投資、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調が続いています。一方で、大国間の貿易摩擦の懸念、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響など、海外動向に対する警戒感により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス業界においては、引き続きクラウド、IoT (Internet of Things)、フィンテック (金融サービスのITイノベーション)、ビッグデータ、AI (人工知能)、RPA (ロボットによる業務自動化)などの技術革新の進展、金融や流通分野を中心とした制度対応に伴うシステム更新、「働き方改革」の実現を含む人手不足に対する自動化、省力化、生産性向上に向けたIT活用意識の高まりを背景としたDX (デジタルトランスフォーメーション)を中心に企業の投資需要が高く、市場は拡大傾向となりました。しかしながらパートナー企業を含む開発要員の不足及び高コスト化等でさらに厳しい収益環境が続いております。

このような環境のもと当社では、引き続き既存顧客とのパートナーシップの強化による領域の拡大及び顧客満足度の向上に努め、継続的な受注確保・拡大を図るとともに、新たなビジネスモデルの創出、新デジタル分野への取り組みに注力し、開発要員の採用強化及びパートナー企業との更なる連携強化に努めてまいりました。

また、引き続き不採算プロジェクト再発防止に向けたプロジェクト管理の強化に真摯に努めるとともに、今後 の成長に向けた強固な土台作りを推進してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,321,477千円(前年同四半期比113.9%)と同四半期累計期間では過去最高売上となりました。利益面については、第2四半期末に発生した大規模不採算プロジェクトが第3四半期末で収束したこと、それ以外のプロジェクトについては増収による利益の増加等堅調に推移したことにより、営業利益は391,116千円(前年同四半期比127.0%)、経常利益は406,067千円(前年同四半期比131.9%)、四半期純利益は270,182千円(前年同四半期比134.1%)となり、第3四半期累計期間において過去最高利益となりました。

当社事業のサービスライン別の業績を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高 (千円)	前年同期比(%)
システムインテグレーション・サービス	4, 277, 094	111.3
インフラソリューション・サービス	939, 211	115. 4
パッケージベースSI・サービス	1, 105, 172	123. 5
合計	6, 321, 477	113. 9

(システムインテグレーション・サービス)

引き続きネットバンクを中心とした銀行向け開発案件及び信託銀行向け開発案件の受注拡大、保険分野での新規案件参画による受注増加、流通分野における制度対応に伴う百貨店向け開発案件の受注拡大、公共分野における開発案件の受注増加等により、売上高は4,277,094千円(前年同四半期比111.3%)となりました。

内訳を業種別に示すと、次のとおりであります。

業種別	売上高(千円)	前年同期比(%)
金融	2, 065, 470	124. 6
(うち銀行)	1, 290, 696	125. 4
(うち保険・証券)	233, 727	145. 3
(うちクレジットカード)	541, 047	115.7
産業・流通	1, 590, 351	97. 0
公共	202, 419	159. 9
医療	418, 851	100. 2
合計	4, 277, 094	111.3

(インフラソリューション・サービス)

保険・証券分野及び公共・文教分野のネットワーク構築案件及び基盤構築案件の受注が堅調に推移したこと、中部・九州エリアの営業所新設による新規受注獲得、特別な需要であるWindows10更新関連ビジネスの受注が好調に推移したこと等により、売上高は939,211千円(前年同四半期比115.4%)となりました。

(パッケージベースSI・サービス)

当社におけるクラウドビジネスの中心であるSalesforceビジネス関連において、新規の大型開発案件の受注が増加したこと、会計パッケージ及び人事給与パッケージの導入支援・保守案件の受注が増加したこと等により、売上高は1,105,172千円(前年同四半期比123.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は5,038,234千円となり、前事業年度末と比較して4,703千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が232,882千円増加、システム開発の進捗により仕掛品が315,894千円増加、未収還付法人税等が26,157千円増加、投資有価証券が28,875千円増加した一方で、売上債権が530,316千円減少、繰延税金資産が70,082千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,611,458千円となり、前事業年度末と比較して160,587千円の減少となりました。これは主に、買掛金が40,842千円増加、短期借入金が100,000千円増加、未払費用が28,695千円増加、預り金が60,734千円増加、受注損失引当金が13,500千円増加した一方、未払金が14,162千円減少、納税により未払法人税等及び未払消費税等が190,800千円減少、賞与、役員賞与の支給等により賞与引当金及び役員賞与引当金が186,929千円減少、株主優待引当金が10,087千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,426,776千円となり、前事業年度末と比較して165,291千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が144,480千円増加、その他有価証券評価差額金が18,420千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月13日に「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想から修正を行っております。

詳細につきましては、本日(2020年2月12日)別途開示しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

		(半位・1口)
	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 055, 822	2, 288, 70
受取手形及び売掛金	2, 030, 781	1, 500, 46
有価証券	300,000	300,00
仕掛品	52, 530	368, 42
前払費用	62, 987	72, 92
未収還付法人税等	_	26, 15
その他	1,310	6, 29
流動資産合計	4, 503, 431	4, 562, 96
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	57, 871	54, 10
工具、器具及び備品(純額)	27, 374	34, 11
有形固定資産合計	85, 245	88, 21
無形固定資産		
ソフトウエア	14,660	6, 07
商標権	5, 487	4, 92
無形固定資産合計	20, 148	10, 99
投資その他の資産		
投資有価証券	91, 284	120, 16
差入保証金	76, 054	68, 80
ゴルフ会員権	3, 600	3,60
繰延税金資産	255, 165	185, 08
貸倒引当金	△1, 400	△1,60
投資その他の資産合計	424, 704	376, 04
固定資産合計	530, 098	475, 26
資産合計	5, 033, 530	5, 038, 23

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	386, 512	427, 354
短期借入金	_	100, 000
未払金	45, 288	31, 126
未払費用	121, 657	150, 353
未払法人税等	165, 461	_
未払消費税等	78, 981	53, 641
前受金	42, 703	40, 984
預り金	65, 281	126, 015
賞与引当金	355, 018	178, 389
役員賞与引当金	30, 800	20, 500
株主優待引当金	12, 267	2, 179
受注損失引当金		13, 500
流動負債合計	1, 303, 972	1, 144, 045
固定負債		
長期未払金	100, 000	100, 000
退職給付引当金	368, 073	367, 412
固定負債合計	468, 073	467, 412
負債合計	1, 772, 046	1, 611, 458
純資産の部		
株主資本		
資本金	457, 304	458, 499
資本剰余金	313, 574	314, 769
利益剰余金	2, 450, 664	2, 595, 145
自己株式	△195	△195
株主資本合計	3, 221, 349	3, 368, 219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40, 135	58, 556
評価・換算差額等合計	40, 135	58, 556
純資産合計	3, 261, 484	3, 426, 776
負債純資産合計	5, 033, 530	5, 038, 234
		, , ,

(2)四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

(単位:千円)

		(中匹・111)
	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5, 550, 396	6, 321, 477
売上原価	4, 615, 993	5, 243, 558
売上総利益	934, 402	1, 077, 919
販売費及び一般管理費	626, 548	686, 802
営業利益	307, 853	391, 116
営業外収益		
受取利息	62	90
受取配当金	1, 447	1, 843
業務受託料	5, 500	3, 500
助成金収入	6, 830	6, 194
受取和解金	_	3,000
その他	536	1, 152
営業外収益合計	14, 376	15, 781
営業外費用		
支払利息	469	390
貸倒引当金繰入額	150	200
固定資産除却損	_	240
一部指定関連費用	13, 685	<u> </u>
営業外費用合計	14, 304	831
経常利益	307, 924	406, 067
税引前四半期純利益	307, 924	406, 067
法人税、住民税及び事業税	55, 330	73, 924
法人税等調整額	51, 123	61, 960
法人税等合計	106, 454	135, 884
四半期純利益	201, 470	270, 182

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の事業は、システムソリューションサービス及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。